

指導主事だより

なんだかうれしい

教育委員会

相談時間等

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話0267-56-3131 (呼)
 - 立科中学校/午後2時～午後5時
電話0267-56-1076 (呼)
 - 立科町児童館/
午前11時50分～午後1時40分
電話0267-56-0248 (呼)
- (担当 指導主事 中島一彦)

桜の朝に歩き出す

～立科小・中学校で入学式～



立科小学校校庭沿い桜 4月6日

立科小学校、校庭と校舎の間に立ち並ぶ桜並木の見事さ。体育館横の桜の大木は校舎の真ん中から子どもたちを見守り続けてきた威厳のある美しさを漂わせています。

ほころび始めて赤みを帯びていた芽が一気に開花した入学式の朝。

桜が開花する中で入学式が行われたのは、創立70周年の今年、また学制発布当時の立科町の学校の150年の歴史の中で初めての事なのだと思うのです。

朝、ほころび始めた芽が、入学式の最中にあちらこちらで花を開花させていく。開花の音が聞こえてくるようにも思えました。

ホワッ、ホワッ・・・と。

目に見えるかのように咲きほころび花びらたち。その花びらやたくさんの人々のあたたかなまなざしの中に入場してきた一年生の子どもたち。はにかみ、はち切れるような満面の笑顔で。

立科中学校では新しい暮らしへの期待と不安を胸に抱きながら、入場した中学一年生たち。中学入学の初心を「自立」と語った堀内貴之校長先生。

何事も自分で考え、判断し、実行すること。自身の決意で「自立」と心の中にしたためよう・・・そう伝えてくださいました。

桜が花を開花させていた入学式の朝。かつて、ここ佐久の地ではあり得なかった情景の中での一日。

わたしたちはたった一回しか生まれることはできない。たった一回しか、この瞬間、この世界を生きることができない。その瞬間でしか見ることのできない桜たちの織りなす風景。

そして今、その桜の古木たちの見守ってくれる下で、はにかみながら、はち切れるような笑顔で、歩き出した子どもたち。

春の光の中を、風の子たちが行きかう。

たくさんの人たちにさわやかな印象を残して、新しい歩みを始めた立科町の子どもたち。ホワッ、ホワッ、のびたい、生きたいと願いながら歩み始めた子どもたちの清らかさと強さ。